

## 平成30年度事業報告

当法人が平成30年度に実施した事業について、次のとおり報告する。

### 第1 事業の状況

#### 1 全般的な事業の状況

種苗の生産事業では、アワビについては、春季の飼育水塩分濃度低下の影響を受け、前年秋採苗稚貝が斃死したことから、需要数に應えるために、昨年度同様、11月に岩手県の民間業者から30mm種苗5万個を購入し対応したほか、5月には（公財）山形県水産振興協会から受精卵を無償で譲り受けて、春採苗に再度取り組むことができた。

クルマエビは、7月下旬からの種苗生産時期を迎え、疾病の発生による生産不調が起こることもなく順調に推移したことで、需要数を大きく上回る231万尾の生産となり、需要数量に上乘せを行い放流に供した。

クロソイについては、（公財）山形県水産振興協会から親魚を譲り受け、状態の良い産仔魚を多く得ることができたことから、種苗の量産を開始したものの、途中疾病が発生したため1.3万尾の種苗を生産するに留まり、うち1万尾を宮城県漁協に有償供給した。

ヒラメについては、県水産振興センターの栽培漁業施設の更新工事により、早期種苗生産が行えない状況下、栽培漁業施設の生産棟の使用が4月25日から可能となり、県で養成している親魚から4月下旬に受精卵を得て前年の約20日遅れで種苗生産を開始した。その後種苗生産が順調に推移し、種苗の間引き前に、過去に受精卵無償譲与を受けた（公社）青森県栽培漁業振興協会へ18万尾を無償供給し、中間育成に入る7月には（公財）宮城県水産振興協会からの求めに応じ、中間育成用ヒラメ種苗7万尾を有償供給した。

放流効果実証事業では、ヒラメについては、前述のとおり、種苗生産が順調に推移したことから、中間育成の歩留まりが低下したものの栽培の基本計画に記載の18万尾を放流することができた。また、マダイについては、ヒラメの種苗生産が約20日遅くなったことや県の栽培漁業施設の更新工事による影響で使用できる水槽の数に大幅な制約を受け、例年の半分以下の種苗生産数に留まった。その後、漁協職員や漁業者の協力を得て2箇所の海上網生け簀で中間育成を行った後、同様に協力を得て放流を行ったが、放流数は約15万尾となった。また、市場調査を周年実施した。

平成31年度に開催される第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会に向け、秋田県が行う気運醸成のための県民総合リレー放流事業で使用するヒラメ種苗、そして1年前事前検証に使用するマダイ種苗を供給した。

アワビ種苗生産施設の飼育水が低塩分や濁りを伴った場合、種苗の斃死を少なくする対策として、飼育水を循環ろ過する装置を飼育棟に導入した。

#### 2 各事業の状況

##### (1) 種苗生産・供給事業

① エゾアワビ

生産施設 (公財) 秋田県栽培漁業協会アワビ種苗生産施設 (象潟)

供給時期 5月31日～翌年3月11日

供給種苗

県内	平均殻長	20 mm	330,000個
県内		30 mm	226,500個
合計		20～30mm	556,500個

② クルマエビ

生産施設 秋田県水産振興センター生産棟

供給時期 9月26～28日、10月4日

供給種苗

県内	平均全長	25 mm	871,500尾
県外		25 mm	431,050尾
合計		25 mm	1,302,550尾

③ ヒラメ (放流・養殖用の中間育成)

育成施設 秋田県水産振興センター実験棟及び (公財) 秋田県栽培漁業協会  
ヒラメ中間育成施設 (岩館)

供給時期 4月10日～9月12日

供給種苗

県内	平均全長	200 mm	400尾 (養殖用)
		185 mm	180尾 (放流用)
		50 mm	20,000尾 (放流用)
県外		35 mm	70,000尾 (中間育成用)

(公社) 全国豊かな海づくり推進協会による広域種資源造成型栽培  
漁業推進事業 (資源造成事業: 日本海北部海域ヒラメ)

平均全長 92.0～120.0mm 40,200尾 (放流)

④ マダイ (放流用等の中間育成)

育成施設 秋田県水産振興センター生産棟

供給時期 8月30日、9月7日、10月6日

供給種苗

県内	平均全長	85 mm	1,000尾 (放流用)
	平均全長	84.8 mm	2,800尾 (放流用)
	平均全長	110 mm	2,000尾 (放流用)

⑤ クロソイ

生産施設 秋田県水産振興センター実験棟及び魚類甲殻類棟

供給時期 4月10日、7月23日

供給種苗

県内 平均全長 80 mm 1, 124尾 (養殖用)

県外 平均全長 60 mm 10, 000尾 (養殖用)

⑥ ガザミ (幹旋事業)

供給時期 7月26日～8月10日

購入・供給種苗 秋田県水産振興センターが生産した種苗を購入し、幹旋配布

県内 平均甲幅 5 mm 換算 1, 647, 000尾

県外 平均甲幅 10 mm 3, 000尾

(2) 放流効果実証事業

① ヒラメ

種苗生産

生産施設 秋田県水産振興センター生産棟

生産期間 4月26日～7月4日

生産種苗 平均全長 23.6～42.1 mm

生産尾数 716, 000尾

中間育成

中間育成施設 秋田県水産振興センター生産棟、実験棟及び(公財)秋田  
県栽培漁業協会ヒラメ中間育成施設(岩館)

中間育成期間 6月20日～9月25日

取り上げ尾数 240, 800尾

放流日 7月16日～9月25日

放流種苗 平均全長 60～100 mm

放流尾数 180, 600尾(残り60,200尾は(1)の③に掲載)

② マダイ

種苗生産

生産施設 秋田県水産振興センター魚類棟

生産期間 5月23日～7月19日

生産種苗 平均全長 30.3～33.1 mm

生産尾数 215, 000尾

中間育成

ア 中間育成施設 秋田県水産振興センター生産棟

中間育成期間 7月19日～10月6日

取り上げ尾数 11, 100尾

放流日	9月10日～10月6日
放流種苗	平均全長 90～100 mm
放流尾数	8,300尾(残り 2,800尾は(1)の④に掲載)
イ 中間育成施設	男鹿市船川港椿 椿漁港内 網生け簀
中間育成期間	7月18日～9月3日
放流日	9月3日
放流種苗	平均全長 78.9 mm
放流尾数	98,800尾
ウ 中間育成施設	にかほ市金浦 金浦漁港内 網生け簀
中間育成期間	7月19日～9月11日
放流日	9月11日
放流種苗	平均全長 95.4 mm
放流尾数	43,800尾

### ③ 放流効果調査及び資料集計

ヒラメ・マダイの市場調査

期 間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

ヒラメ・マダイについて、県内産地市場調査を行い人工放流種苗の混入を調査。

### (3) 県水産振興センターの種苗飼育等業務の受託事業

秋田県水産振興センターで飼育や種苗生産を行っている魚介類（ヒラメ親魚、マダイ親魚、キジハタ親魚、トラフグ、ガザミ、アユ、キジハタ、ハタハタ）の飼育補助、ワムシ等餌料生物の生産補助を受託した。

### (4) 栽培漁業啓発普及事業

金浦漁港を会場に、9月11日第27回放流式を開催し、関係者とかかほ市立金浦小学校児童によるヒラメ・マダイの稚魚放流を実施するとともに、アワビ種苗生産施設では、8月に由利本荘市の小学校1校の見学を受入、児童の栽培漁業に関心を持つ学習に対応した。

また、当協会ホームページでは、事業状況の他に、新着情報として各種苗の生産・放流情報を写真入りで33回発信した。

## 第Ⅱ 処務の概要

### 1 役員に関する事項

#### (1) 評議員

平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
評議員	遠藤 実	H 29. 6. 27	秋田県内水面漁場管理委員会会長
同	工藤 裕紀	H 29. 6. 27	秋田県漁業協同組合専務理事
同	日沼 一之	H 30. 6. 27	八峰町副町長
同	小野 正博	H 30. 6. 27	能代市副市長
同	佐藤 透	H 30. 6. 27	男鹿市産業建設部長
同	児玉 正生	H 30. 6. 27	潟上市産業建設部長
同	本間 斗	H 29. 6. 27	秋田市産業振興部長
同	遠藤 晃	H 28. 6. 23	由利本荘市農林水産部長
同	本田 雅之	H 30. 6. 27	にかほ市副市長

任期は4年 令和2年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

(2) 理事・監事

平成31年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
理事長	中村 彰男	H 29. 6. 27 ( H 27. 6. 13)	(公財)秋田県栽培漁業協会(事務局長兼務) (理事就任年月日)
理 事	大竹 敦	H 27. 6. 13	前秋田県水産振興センター所長
同	石井 好勝	H 27. 6. 13	八峰町峰浜漁業協同組合代表理事組合長
同	平川 博勝	H 29. 6. 27	前能代市浅内漁業協同組合代表理事組合長
同	畠山 成功	H 29. 6. 27	三種町八竜漁業協同組合副組合長理事
同	船木 律	H 27. 6. 13	秋田県漁業協同組合常勤監事
同	小松 斉	H 29. 6. 27	元全国広域漁船保険組合秋田県支所長
監 事	武田 誠	H 29. 6. 27	男鹿市農林水産課長
同	藤嶋 茂	H 27. 6. 13	全国漁業信用基金協会副代表監事・秋田支所監事

任期は2年 平成30年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

2 職員に関する事項

平成31年3月31日現在

職 名	氏 名	採用年月日	担 当 業 務 等
事務局長	中村 彰男	H 27. 7. 1	事務関係全般 総括 (理事長兼務)
主任技術員	三浦 肇	H 5. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査
主任技術員	杉本 修	H 8. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成 (象潟アワビ施設勤務)
技 術 員	佐藤 亮太	H 27. 4. 1	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査

### 3 役員会に関する事項

#### (1) 理事会

開催月日	議 決 事 項	出席者数及び議事の結果
H 30.5.28	<p>議案第1号 平成29年度事業報告・貸借対照表・損益計算書 (正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件</p> <p>議案第2号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 5名</p> <p>監事出席数 2名</p> <p>議事の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第1号 原案どおり承認</li> <li>・ 議案第2号 原案どおり決議</li> </ul>
H 30.10.5	<p>議案第1号 放流効果実証事業の放流協力金の件</p> <p>議案第2号 平成30年度の臨時職員雇用状況に基づく対応策の件</p> <p>議案第3号 平成31年度の県水産振興センター種苗飼育等業務受託の対応の件</p> <p>議案第4号 新たな事業の件</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 5名</p> <p>監事出席数 1名</p> <p>議事の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第1～4号 承認</li> </ul>
H 31.1.24	<p>議案第1号 平成30年度収支第1次補正予算案の承認の件</p> <p>議案第2号 平成31年度事業計画に係る放流式の件</p> <p>議案第3号 臨時従業員就業規則の一部改正の件</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 6名</p> <p>監事出席数 2名</p> <p>議事の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案第1、2号 原案どおり承認</li> <li>・ 議案第3号 原案どおり決議</li> </ul>
H 31.3. 20	<p>議案第1号 特定費用準備資金の積立計画中止と新たな積立計画の件</p> <p>議案第2号 平成30年度収支第2次補正予算案の承認の件</p>	<p>現在理事数 7名</p> <p>定足数 4名</p> <p>出席数 6名</p>

開催月日	議 決 事 項	出席者数及び議事の結果
	議案第3号 平成31年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、 資金調達及び設備投資(案)の承認の件 議案第4号 就業規則の一部改正の件 議案第5号 会計処理規程の一部改正の件	監事出席数 2名 議事の結果 ・ 議案第1、4、5号 原案どおり決議 ・ 議案第2、3号 原案どおり承認

(2) 評議員会

開催月日	議 決 事 項	出席者数及び議事の結果
H 30.6.27	定時評議員会 議案第1号 平成29年度事業報告・貸借対照表・損益計算書 (正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 議案第2号 評議員の補欠選任の件	現在評議員数 7名 定足数 4名 出席数 5名 理事出席数 1名 監事出席数 1名 議事の結果 ・ 議案第1号 原案どおり承認 ・ 議案第2号 原案どおり決議

4 契約に関する事項

契約締結月日	契約の相手方	契 約 の 概 要
H 30.3.29	秋田県水産振興センター所長	平成30年度 水産振興センター種苗飼育等業務受託 (期間 H31.3.31 まで) 契約額 6,234,951 円
H 30.11.30	秋田県水産振興センター所長	水産振興センターハタハタ稚魚飼育等業務受託 (期間 H31.3.31 まで) 契約額 483,608 円

